

■ 3月に入りました。

3月です。少し暖かくなりました。山下クラスの教室クラスも少し人数が増えました。試験はマラソンです。今は8月までの折り返し地点でしょう。

科目も社会保険に入ります。ここからが「山下」の出番です。

8月までのスケジュールを立ててみます。山下道場を組み入れた内容です。

3月	<p>現在講義を行っている科目の「数字」を必ず目次に記載する。目次の活用は重要です。条文番号の流れや章立ての意味も理解できます。そして、数字をまとめることにより、選択式対策を行っています。作業です。徴収法の数字のまとめは必要ないと思います。雇用保険からでも間に合います。雇用、労一、健保と数字を目次でまとめましょう。</p> <p>時効、不服申し立て、雑則の横断に入ります。10年の過去問を一気に解いてください。</p>
4月	<p>各クラスとも社会保険に入ります。健保から国保や介護保険をまとめましょう。健保から厚生年金の保険料をまとめましょう。通則規定(未支給等)、滞納処分、賃金の横断です。10年の過去問を一気に解いてください。</p>
5月	<p>模擬試験の月です。社会保険だけに絞ります。5月の山下道場を活用する。問題集は100の法則。知識編は123でまとめていく。健保、国年、厚年、社一の4科目を繰り返し学習します。労働法は6月にまとめる。</p> <p>※模試の結果が出たら、正答率に注意する。正答率60%以上の問題が不正解の場合はしっかりと123に間違えた理由を残す。</p>
6月	<p>労働法のまとめの時期です。労基法、労災、雇用です。123でまとめ100の法則で問題を解く。繰り返しです。6月の模試は被保険者、適用、適用除外、保険料を横断する。</p>
7月	<p>徴収法を道場で一気にまとめる。123の読み込み。</p>
8月	<p>選択式対策⇒目次を使い数字をまとめる 主要6科目択一問題で解答力を持続する。 前日講座で仕上げです。</p>

## ■初学者

勉強進んでいますか？過去問題解いていますか？今やるべきことをしっかりやっておきましょう。山下の顔だけ見ているだけでもだめですよ（笑）（見たくない???)  
授業の受けっぱなしはダメです。過去問題を解きましょう。健康保険は医療の中心です。社会保険一般常識との関係もあります。また、厚生年金の適用、標準報酬、保険料等類似の箇所が多いです。

3月1日(土曜)	健保③④
3月8日(土曜)	健保⑤⑥
3月15日(土曜)	健保確認テスト・国年①②
3月22日(土)	国年③④
3月29日(土曜)	国年⑤⑥

## ■再受講生

### ★年金だけでも深く入れば3年はかかる

3月からは試験向きの学習を行います。社労士試験の受験勉強は学者や教授になることが目標ではありません。

年金のプロを目指せば最低3年はかかります。社労士試験では国民年金・厚生年金を学習しますが、年金の世界では旧法・共済年金・農業者年金等学習におわりがありません。専門的な内容は合格後に学習することと割り切ります。各科目ともそれなりに奥は深いことに注意。大切なのは、合格するために学習に徹することです。

### ★細かい部分は切り捨てる・・・・・・袋小路に入ってはいけない

再受講生の注意することは、必要以上に法律の森にはいってはいけません。

法律の森とは、条文、法附則、施行規則、通達、指針、判例等です。労働法令集にはたくさん条文があります。受験範囲は膨大な量です。全ての条文の理解は必要ありません。ある程度の勉強をこなして初めて関連条文の理解が出来ます。テキストの内容も過去問をベースに作成されているために、有る程度省略している箇所もあります。

それは受験ではここまでで、これ以上はやめましょうというサインです。テキストの説明内容で理解が難しいこともあるでしょう。それはそれで、完結してください。細かい部分は切り捨てましょう。

★中上級講座（休日クラス）3月

3月2日（日曜）	労一①②
3月9日（日曜）	労一③④
3月16日（日曜）	労一確認テスト・労一予想テスト
3月20日（木）祭日	先取り白書・先取り改正 実力模試
3月23日（日曜）	健保解き方①②
3月29日（土曜）	健保①②

★中上級講座（平日）3月 19時～21時30

3月3日（月曜）	予想テスト
3月11日（火）	労一解き方①
3月12日（水）	労一解き方②
3月13日（木）	労一①
3月14日（金）	労一②
3月18日（火）	労一③
3月19日（水）	労一④
3月24日（月）	労一確認テスト
3月25日（火）	労一予想テスト
3月26日（水）	先取り白書
3月27日（木）	先取り改正
3月28日（金）	実力模試
3月31日（月）	健保解き方①